

<今日の説教のポイント　ローマの信徒へ手紙 12 章 1 節～8 節>

1 私たちに求められる「教会作り」

2023 年定期総会の「教会形成の課題」において上山牧師から後任者を得るのが難しい現状からその準備に取りかかること、そして、そのために「教会作り」が大切である旨の説明がなされました。その課題に対して、私たちの教会においてこれから求められるものは何か、「教会作り」とはどのようなことで成されるのかについて共に学びたいと思います。そのためローマの信徒への手紙からキリスト者の教会生活として、主日礼拝と奉仕（ディアコニア）をテーマとしました。

2 私たちの教会生活＝主日礼拝と奉仕（ディアコニア）

パウロがキリスト者＝ローマの兄弟たちへの語りかけた教会生活、①神様を中心として生活すること、そしてそのため何よりも神様を神様としてあがめ、神様を礼拝することが求められています。しかし、私たちの信仰生活にとって、現在の「この世」は、厳しい世界でもあります。そのような私たちにパウロは「心を新たにして自分を変えていただきなさい」と語りかけます。私たちは、主日礼拝において神様を礼拝し、神様のみ言葉を一生懸命に聞き、祈ることを通して、神様の導きのうちに「心を新たにされ」て喜びに満ちた、神様を中心とした信仰生活が生まれてくる、と教えられます。②パウロは、私たちが信仰をもってそれぞれに与えられた賜物に応じてその働きをなしていく、そのことによってキリストを頭とした、キリストの体なる教会が形成されることを教えています。そして、神様の豊で多角的な恵によって、私たちにも豊かで数多い賜物が与えられています。私たちは、神様から与えられた賜物を信仰により活かして仕えていくことで、この教会においてキリスト者の共同体としての一致を益々強いものにすることができるのです。

3 これからの教会の歩み

私たちの教会が福音をこの地で宣べ伝えていく、信仰の歩みを続けていくなかで、今後もさまざまな出来事（牧師の交代や苦難となることも）が起こります。その中にあっても、主日礼拝を守って福音を宣べ伝えることと、神様から与えられた賜物を活かして神様に仕えていく「教会作り」を成す歩みを一層進めていきたいと思ひます。